



独 包装コンサルタントとの情報交換会 (未来包装研究委員会)

<http://www.housou-senshikai.jp/>

包装コンサルティング会社 SCHÖNWALD CONSULTING との情報交換会報告

概要

ドイツ在住の包装コンサルタント Jörg Schönwald 氏ならびに Ute Schönwald 氏が来日されたのを機に、当会未来包装研究委員会企画にて情報交換会を開催しました。Jörg 氏は親日家として知られ、TOKYO PACK ならびに JAPAN PACK 開催時期に必ず来日されています。Jörg 氏、Ute 氏を囲み、日本のパッケージ技術の紹介、欧州のパッケージ業界の動向について、情報交換を行いました。

開催日：2025年10月3日

開催場所：東洋インキ株式会社 会議室（東京都中央区京橋）

参加者：SCHÖNWALD CONSULTING Jörg Schönwald 氏（社長）、Ute Schönwald 氏、
当会未来包装研究委員会メンバー、包装専門家など 計12名

情報交換の主なトピックス

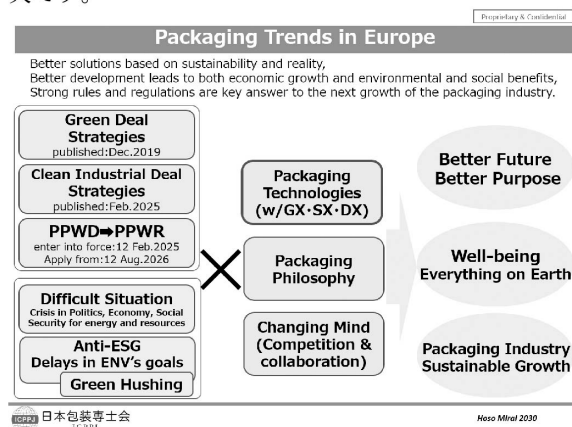
1. 欧州のパッケージ産業と環境対応を取り巻く状況
2. 欧州のパッケージトレンドと技術的課題
3. 規制（PPWR や EPR）に関する動向
4. 日本のパッケージ事例

Jörg 氏からのメッセージ

欧州では現在、リサイクルへの転換が急速に進展しています。包装分野においても、リサイクル可能な原材料の採用および設計への切り替えは喫緊の課題です。

一方で、欧州は経済的・社会的に困難な状況に直面しており、環境対応の優先順位は相対的に低下しています。また、欧州域外からの安価な原材料・製品の流入が続いていることも大きな懸念事項となっています。

こうした状況を踏まえ、包装産業も他の産業と同様に結束し、次の戦略を見出すことが求められています。そのためには、強制力を持つ規制（Regulation）として法制度に明確に位置づける必要があります。環境保全と経済成長の両立を図り、企業および市民の利益を守るためにも、Sustainability（持続可能性）と Reality（現実性）のバランスを適切に維持することが不可欠です。



欧州のパッケージ業界のトレンド

参加者（東洋インキ株式会社にて）